

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2264
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	1	下水道事業費	項	1	下水道施設費	目	1	管きよ建設事業費
事業名	11100		管きよ建設事業費					

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		175,504	168,689	△ 6,815	71,014	事業計画に基づき精査 計画外の事業については見送り 面的整備の完了に伴い減	71,014	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	52,000	51,500	△ 500	16,000		16,000	
	県支出金							
	起債	116,200	109,500	△ 6,700	49,300		49,300	
	その他	7,304	7,689	385	5,714		5,714	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の整備			
事業実施の課題			
現在、整備率が99.6%となっているが、未整備となっている地区については、地理的条件で整備が困難な箇所や河川改修等他事業との連携が必要な箇所が多い。 下水道施設の管理は、30年前から更新されていない390枚の手書き原図の台帳で行っているため、今後の維持管理に必要となる管きよ情報を効率的に管理する必要がある。			
事業概要			
下水道管きよ(公共下水道:宮川処理区)の整備 下水道管きよ整備工事請負費(L=1.2km) マンホール蓋更新工事請負費(N=72基)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
管きよ整備率(戸数ベース)(%)	99.6	99.7	99.7
成果			
快適で衛生的な生活環境の実現			
公共用水域の水質保全			
要求額増減理由			
平成22年度までで大規模な面整備が完了 管きよ管理情報システム構築費の増(国庫補助事業)			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ハード		
下水道管きよ整備事業		
③事業評価		
事業名	下水道管きよ整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	整備の完了に向けて今後も計画どおり実施していくことが望まれる。管きよの整備完了後はマンホール蓋の更新に加え、管きよの老朽化対策などの検討が必要となってくるため、更なるコスト縮減により、計画的な老朽管対策が必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2971
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	1	下水道事業費	項	1	下水道施設費	目	2	処理場建設事業費
事業名	11220		処理場改造事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		282,200	294,835	12,635	269,150	事業計画に基づき精査	269,150	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	151,500	153,050	1,550	139,200		139,200	
	県支出金							
	起債	117,400	126,900	9,500	116,300		116,300	
	その他	13,300	14,885	1,585	13,650		13,650	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の整備			
事業実施の課題			
供用開始後31年が経過し、耐用年数を超過した機械設備が多数存在する			
事業概要			
下水処理場(公共下水道:宮川処理区)の改修整備 長寿命化工事請負費(処理場汚泥掻寄機、送風機、脱水ケーキ移送ポンプ) 管理棟本館耐震補強のための詳細設計業務委託費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
処理場改修整備	電気設備更新 熱交換器更新 1号揚水ポンプ更新	電気設備更新 2号揚水ポンプ更新	2号揚水ポンプ更新 設備長寿命化対策
成果			
機械設備の長寿命化及び汚水処理コストの縮減			
快適で衛生的な生活環境の実現			
要求額増減理由			
下水道長寿命化計画に基づく、設備工事請負費及び設計委託費の増加			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保安を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ハード		
下水道処理施設等耐震化事業 下水道処理場改造事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2264
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	1	下水道事業費	項	2	特定環境保全下水道施設費	目	1	管きよ建設事業費
事業名	12100	特定環境保全管きよ建設事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		218,399	130,211	△ 88,188	130,180	事業計画に基づき精査	130,180	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	71,000	63,250	△ 7,750	63,500		63,500	
	県支出金							
	起債	141,400	58,200	△ 83,200	58,400		58,400	
	その他	5,999	8,761	2,762	8,280		8,280	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の整備			
事業実施の課題			
整備を継続している特環国府処理区と特環栃尾処理区の水洗化率が、61.2%と65.2%と低いため水洗化を促進して、整備効果を高める必要がある			
事業概要			
下水道管きよ(特定環境保全公共下水道:国府処理区・栃尾処理区)の整備 下水道管きよ整備工事請負費(L=1.2km)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
管きよ面積整備率(国府処理区)(%)	75.1	78.4	78.4
管きよ面積整備率(栃尾処理区)(%)	69.7	69.7	73.5
成果			
快適で衛生的な生活環境の実現			
公共用水域の水質保全			
要求額増減理由			
平成23年度事業計画による			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ハード		
国府・奥飛騨温泉郷 特定環境保全公共下水道整備事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2253
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
事業名	21100		一般管理事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		217,847	211,605	△ 6,242	123,124	水洗化資金融資預託金は実績に基づき精査	123,124	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	217,847	211,605	△ 6,242	123,124		123,124	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道事業の総務事務			
事業実施の課題			
少子高齢化や後継者の不在・不足から、住宅の改造を伴う水洗化に対する意欲の低下が伺われる よって、より一層の水洗化の普及啓発、促進が必要である			
事業概要			
水洗化の普及促進及び下水道使用料等の賦課徴収			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
融資あっせん件数(件)	4	5	6
成果			
公共下水道宮川処理区内の水洗化率 85.1% (戸数ベース) 特定環境保全処理区内の水洗化率 71.3% (戸数ベース)			
要求額増減理由			
使用料賦課適正化のための経費の増 水洗化融資あっせん預託金の減			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ソフト		
水洗化普及促進事業		
③事業評価		
事業名	水洗化普及促進事業	今後の方向性
評価区分	IV	下水道の接続件数に対して本制度を利用している割合は1%程度とごくわずかである。 需要が少ないのか周知が足りないのか実績が少ない原因について 検証を行い、制度のあり方を再度検討する必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 低	
実施方針	「Ⅲ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と生命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2264
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	2 総務費	項	2 下水道施設管理費	目	1 管きよ管理費
事業名	22100	管きよ管理費			

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		51,669	53,336	1,667	51,715	施設維持管理費は実績に基づき精査 マンホールポンプ設置基数の増加に伴い施設維持管理費が増	51,715	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	51,669	53,336	1,667	51,715		51,715	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の管理			
事業実施の課題			
マンホールポンプ及びその関連機械設備で耐用年数15年を経過した施設が多数存在している			
落雷によるマンホールポンプの被害が頻発している			
事業概要			
下水道管きよ(公共下水道:宮川処理区)の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
マンホールポンプ数(基)	42	42	43
成果			
適正な維持管理を実施することで、施設の健全化、延命化に資する			
要求額増減理由			
落雷やゲリラ豪雨に起因するポンプ施設のトラブルへの対応			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2) 生活環境の向上と流域の水質保安を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ソフト / ハード		
下水道施設管理事業(公共終末処理場)/下水道施設維持修繕・改修事業、雨水排水対策事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2971
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	2	下水道施設管理費	目	2	処理場管理費
事業名	22200		終末処理場管理費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		240,569	249,103	8,534	239,483	施設維持管理費は実績に基づき精査	239,483	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	240,569	249,103	8,534	239,483		239,483	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の管理			
事業実施の課題			
供用開始後31年が経過し、耐用年数を超過した機械設備が多数存在する			
事業概要			
下水処理場(公共下水道:宮川処理区)の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
処理場数(施設)	1	1	1
成果			
適正な維持管理を実施することで、施設の健全化、延命化に資する			
快適で衛生的な生活環境の実現			
要求額増減理由			
管理業務委託費の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保安を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ソフト ハード		
汚泥等有効活用事業/下水道施設管理事業(公共終末処理場)、下水道施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2264
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	2 総務費	項	3 特定環境保全下水道施設管理費	目	1 管きよ管理費
事業名	23100 特定環境保全管きよ管理費				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		27,699	35,229	7,530	28,200	施設維持管理費は実績に基づき精査 マンホールポンプ設置基数の増加に伴い施設維持管理費が増	28,200	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	27,699	35,229	7,530	28,200		28,200	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の管理			
事業実施の課題			
マンホールポンプ及びその関連機械設備で耐用年数15年を経過した施設が多数存在している			
落雷によるマンホールポンプの被害が頻発している			
事業概要			
下水道管きよ(特定環境保全公共下水道:11処理区)の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
マンホールポンプ数(基)	97	98	100
成果			
適正な維持管理を実施することで、施設の健全化、延命化に資する			
要求額増減理由			
落雷やゲリラ豪雨に起因するポンプ施設のトラブルへの対応			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保安を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ソフト ハード		
下水道施設管理事業(特定環境保全終末処理場)下水道施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2971
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	2 総務費	項	3 特定環境保全下水道施設管理費	目	2 処理場管理費
事業名	23200 特定環境保全終末処理場管理費				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		183,635	202,856	19,221	184,090	施設維持管理費は実績に基づき精査 汚水処理量の増加に伴い施設維持管理費が増	184,090	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	183,635	202,856	19,221	184,090		184,090	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
下水道施設の管理			
事業実施の課題			
供用開始後20年が経過した処理場をはじめとして、耐用年数を超過した機械設備が多数存在している			
事業概要			
下水処理場(特定環境保全公共下水道)の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
処理場数(施設)	10	10	10
成果			
適正な維持管理を実施することで、施設の健全化、延命化に資する			
快適で衛生的な生活環境の実現			
要求額増減理由			
汚水流入量増加に伴う水道光熱費及び施設管理材料費の増 施設の経年劣化による修繕費及び管理業務委託費の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保安を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3.「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ソフト ハード		
下水道施設管理事業(特定環境保全終末処理場) 下水道施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します		

事業別予算概要

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2266
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	3	公債費	項	1	公債費	目	1	元金
事業名	31100		地方債元金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,511,842	1,534,887	23,045	1,534,887	要求どおり	1,534,887	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	1,511,842	1,534,887	23,045	1,534,887		1,534,887	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
地方債に係る元金の償還			
事業実施の課題			
地方債残高の縮減(適正な起債管理、補償金免除繰上償還の実施)			
事業概要			
地方債に係る元金の償還			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
年度末地方債残高(千円)	27,909,093	26,772,251	25,548,064
成果			
平成16年度末地方債残高 32,233,779千円			
要求額増減理由			
償還計画による			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

事業別予算概要

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2266
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	3	公債費	項	1	公債費	目	2	利子
事業名	31200		地方債利子					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		616,734	585,236	△ 31,498	585,236	要求どおり	585,236	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	616,734	585,236	△ 31,498	585,236		585,236	
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
地方債に係る利子の支払い			
事業実施の課題			
地方債残高の縮減、高金利負担の軽減(適正な起債管理、補償金免除繰上償還の実施)			
事業概要			
地方債に係る利子の支払い			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
年度末地方債残高(千円)	27,909,093	26,772,251	25,548,064
成果			
公的資金補償金免除繰上償還(H19~H21)による利子減少額 745,267千円			
要求額増減理由			
償還計画による			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		